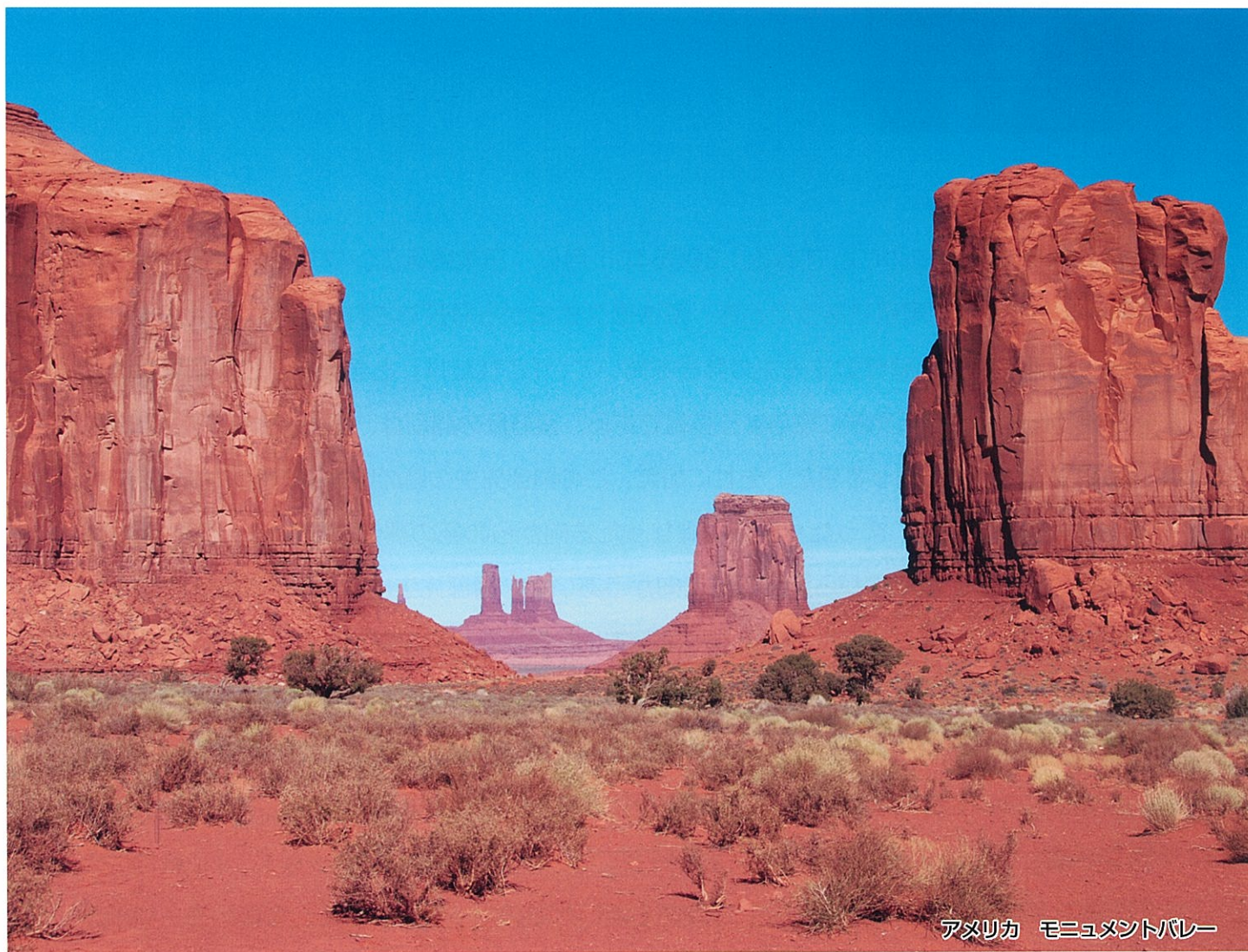


セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.18
2008.12.

アメリカ モニュメントバレー

柘さ
榴くろ

疲れた者、重荷を負う者は誰でも私のところに来なさい。休ませてあげよう。私のくびきを負い、私に学びなさい。あなたがたは安らぎを得られる。私のくびきは負いやすく、私の荷は軽いからである。

マタイによる福音書 11章 28-30節

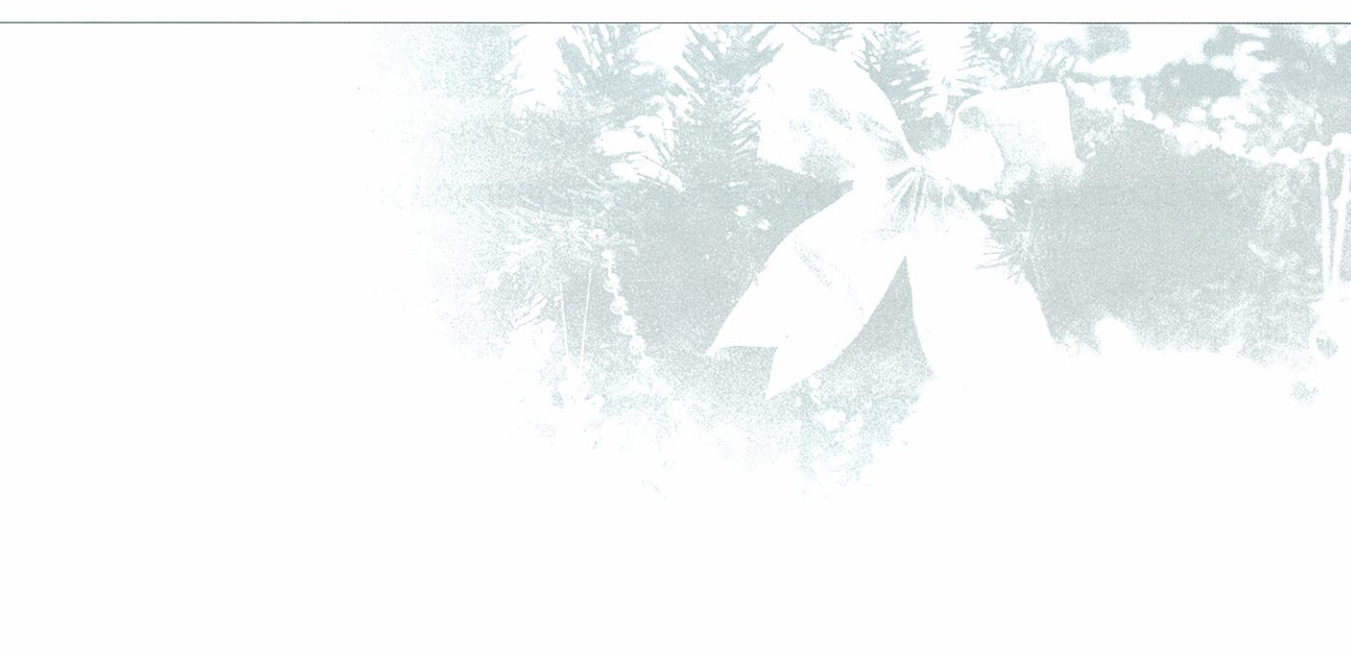
「リント人への手紙において、「神はあなた方を耐えられないような試練には遭わせない」と述べています。そうです。私たちに耐えられないような試練はありません。ないはず。しかし、それでも、自分では大変と思われる試練に遭うことがあります。とてもじゃないが耐えられない、きつくてたまらない、どうにかしてほしい、お先真っ暗だ、どうしていいかわからない、などなど。そのときには、神も仏もあつたものじゃないといいたくなります。そのときに、神様は、「私のところに来なさい」とおっしゃっています。そうです。苦しいときの神頼みです。苦しいときに助けてくれなかったら神様ではありません。正々堂々と「神様、助けて!!」と訴えるべきです。そうすれば必ず助けていただけます。その代わり、本心から、本当にまじめに心の底からお願ひしなければなりません。そうすれば必ず助けていただけます。しかし、まったくすべてではありません。少しは自分でも努力をしなければなりません。だから、「私のくびきは負いやすく、荷は軽い」といわれます。少しは荷を負わねばなりません。でも、あの圧倒的な絶望的な過酷さからは救われます。必ず救われます。そして、余禄として、あのかのときの試練は何だったのかということ、後で、実によく理解出来る時が来ます。本当です。神様は、常に私たちを見守ってください。だから、またクリスマスがやってきます。クリスマスは、神様が私たちにそれを約束してくださったことを、私たちが改めて思い出すためのイエス様からの虹のプレゼントなのです。



巻頭言

院長 宇津宮 隆史

あれは4年近く前のことである。2005年1月に、日本臨床エンブリオロジスト研究会10周年記念大会が東京であったとき、荒木康久先生から耳打ちされていた、東北大学（現山形大学准教授）の阿部宏之先生の発表を聞いて、「これだ!!」と思った。この研究は、今後の生殖医療の更なる発展に寄与する技術である。良好胚の判別は、ART開始以来30年間、顕微鏡下での判別に頼ってきた。それに加え、この阿部先生の胚の呼吸量測定による方法は、新たな判別に役立つ、まったく次元の異なった方向からの胚の評価法になりうるのである。研究会の終了後、歩きながら浜松町駅に向かうあいだ、阿部先生に、先生の研究の生殖医療に関する意義をお話し、ぜひ、研究を推進していただきたいとお願いした。その1年後、共同研究が開始となった。直ちに、安全性の確認のための研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会に申請し、認可され、呼吸量測定による胚への影響のないことを確認した。その後、胚の呼吸量についての発表は、2年間で国際学会3回、国内学会6回、日本語論文1編、英語論文2編となった。基礎的検討といえる時点では、聴衆からの反応は少なく、「これほどの画期的な研究に対してなぜなのか」と疑問も湧いたものだった。さらに、今年のヨーロッパ生殖医学会（ESHRE）では、門前払いを食らった。そこで、秋田大学田中俊誠教授お勧めのように、「この研究の価値をわかってくれる上位の学会に出そう」と、アメリカ生殖医学会（ASRM）に出した結果、850題のポスター発表の中で、第3位の学会賞を受賞したのである。この受賞でいくつかのことが確認された。まず第1に、われわれの方向性は間違っていないということ。今まであまり関心がなかったように思えたが、妊娠率の結果が出てくるようになって関心が高まった。顕微鏡による判別法の限界が誰にでも感じられており、新たな判別方法が期待されていたのである。この胚の呼吸量測定は、その期待に沿う方法であった。第2に、この研究は、アメリカの大学はまったく関係なく、完全に日本人だけで、



しかもプライベート・クリニック中心の発表であったにもかかわらず、高い評価を与えてくれたこと。アメリカ生殖医学会の奥深さ、公平さを感じたものである。そして、第3に、今後大きな課題ができたこと。この測定装置を誰でもどこでも容易に利用できる体制にすること、これがわれわれに課せられた新たな責務であろう。トランジスタも、発明（アメリカ）だけではどうにもならなかったが、それを日本のSONYがトランジスタラジオに利用して世界中に広まった。同じような場面がやってくるのである。そして、この研究においては、基礎科学部門、臨床研究部門、装置開発の工業部門の3つの学際的共同研究が実を結んだよい例になるといえる。今後は、たった一つの部門だけの研究では効率も悪く、大きな発展は望めない。共同研究が必須となろう。

また、今回の受賞に際しては、多くの方に喜んでいただいた。特に、JISARTメンバーなど、プライベートに活躍されている方たちから「よかったね」といってもらえたことはうれしかった。

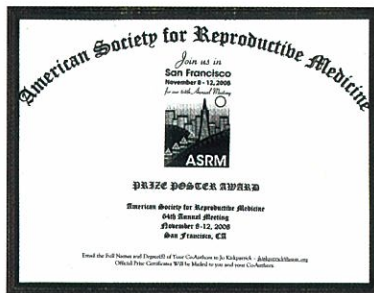
さて、今回、アメリカ生殖医学会（ASRM）に参加して、やはり「日本はすごい」であった。生殖医療では、今や日本は世界をリードしていることは確実である。内視鏡手術のライブでも、Vitrificationのビデオセッションでも、妊娠困難例に対する対応でも、さらに精神、心理的サポートでも、日本は自信を持ってこの路線を推進していったよいと思った。さらに、情報処理など、今後の問題点についても、建て前だけでなく、実質的な面からも日本は確実なステップを踏める質を持っていると思えた。国によって背景が異なる点もあり、一概に比較はできないが、日本はその着実、まじめ、正直な性格をバック・ボーンにしている限り、きっと世界をリードできるであろう。ただし将来の望まれている方向性を間違えず、不妊患者さんの希望の本質を確実に把握している限りにおいてであるが。

アメリカ生殖医学会(ASRM) 参加報告

アメリカ サンフランシスコ 2008/11/8～2008/11/12

サンフランシスコで行なわれたアメリカ生殖医学会(参加登録9000人)に当院から2題を発表しました。

アメリカ生殖医学会優秀賞受賞!!

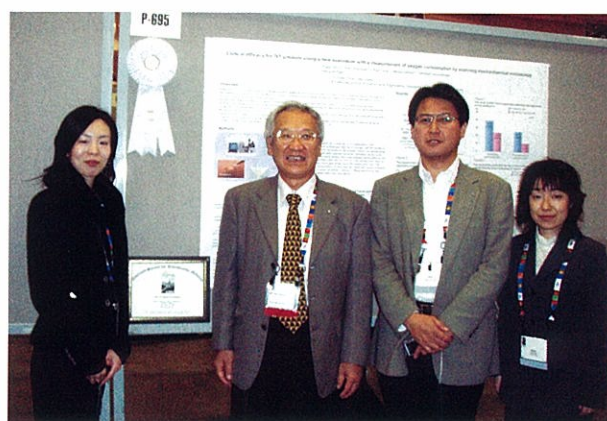


1) 『Clinical efficacy for IVF patients using a new evaluation with a measurement of oxygen consumption by scanning electrochemical microscopy』 (走査型電気化学顕微鏡を用いたヒト胚の呼吸量測定 of 臨床的有用性)

今までなされてきた形態評価に加え、世界で初めて受精卵の呼吸量を測定することにより、さらに妊娠率向上のための胚の選別ができるようになりました。
この発表は本学会で1150演題の中から、優秀演題5題のうちの一つに選ばれました。



学会会場 Moscone convention centerにて



共同研究を行っている 山形大学 阿部宏之先生と

2) 『DNA methylation errors at imprinted loci after assisted conception originate in the parental sperm』 (流産後の胎盤絨毛におけるインプリント遺伝子の解析と精液性状との関係)

流産後の胎盤と精子の遺伝子機能を調査して、その変化を見ました。
精子の遺伝子機能低下は、受精後の胚にそのまま伝わっている可能性があることが分かりました。

それぞれ準備していた当院の演題に関する配布資料は全てなくなり、今回の国際学会で興味を持ってくれた方がいたということがうれしく思いました。

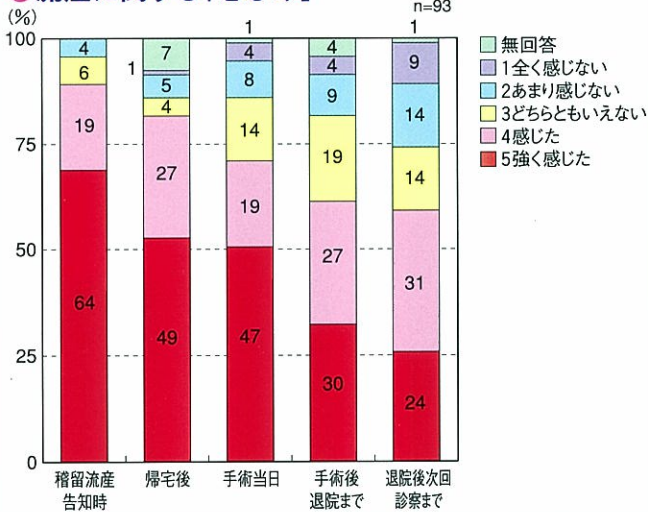
看護部だより

不妊治療中に流産となった患者への面接調査

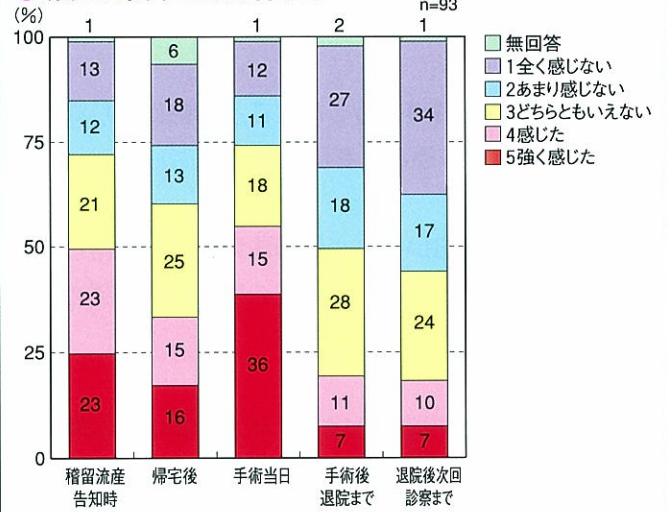
看護部 越光 直子

不妊治療後、妊娠したにも関わらず流産となってしまった患者さんは、妊娠という喜びが大きいだけに流産の悲しみは深いと思われます。当院では流産手術を行った患者さんに流産後の気持ちについて、聞き取りによる調査を行いましたので報告します。

●流産に関する「悲しみ」



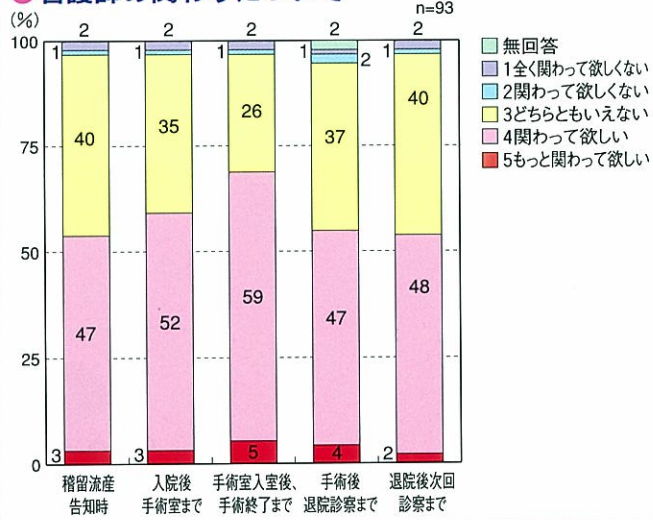
●流産に関する「恐怖心」



「悲しみ」は、流産告知時に強く感じたと答えていました。「悲しみ」は時間の経過と共に軽減していくと考えられます。

「恐怖心」は、手術当日に強く感じるため、手術の内容や痛みなどに対するものではないかと思われます。看護師の関わりでは、全ての時期で看護師に関わって欲しいと感じているという結果でした。

●看護師の関わりについて



●看護支援内容

●稽留流産告知時

医師の診察後、当院独自の用紙を用いた個別の説明及び相談

●入院後手術室まで

処置時、適時看護師より声掛けや説明

●手術室入室後、手術終了まで

手術室担当看護師より声掛け、内容や流れについて説明

●手術終了後退院診察まで

手術後の状態管理。当院独自の用紙を用い、次回診察について説明

●面談日

診察終了後、個室を利用して看護師との面談(アンケート調査)

●その他

朝ミーティングにて継続看護の必要な患者情報の共有
患者の状態によっては随時、臨床心理士など他部署の相談へ紹介

今回の調査で、治療意欲が強くなる一方で、再流産の不安が高くなるという結果が得られました。当院では、図に示すような支援を行い、患者さんにケア内容を十分に説明し、不安を取り除くように心がけています。

今後もこれらの結果を踏まえて、流産患者さんへの看護を継続して行っていきたいと考えます。

研究室だより

AMHについて

研究室 後藤 香里

AMH(Anti-Mullerian hormone)は近年注目されているホルモンです。

このホルモンは卵巣の中に蓄えられている未熟な卵子より生産されます。

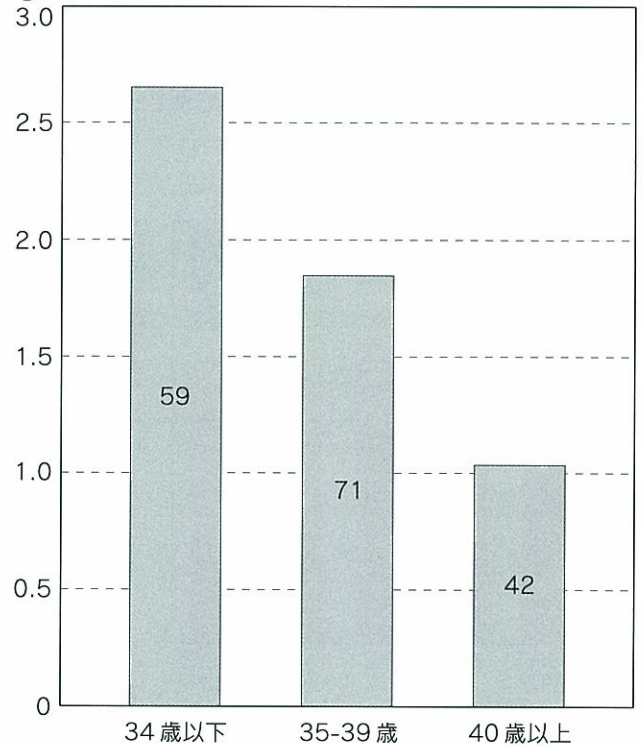
その値を調べることにより、卵巣の予備能力(卵巣年齢)を測ることができると言われてています。


当院においても調査を行ったところ加齢により顕著にAMHの値は低下することを示しました。

体外受精周期においても、排卵誘発を行い、得られた卵胞の個数はAMHが低いと少なくなる結果を認めました。

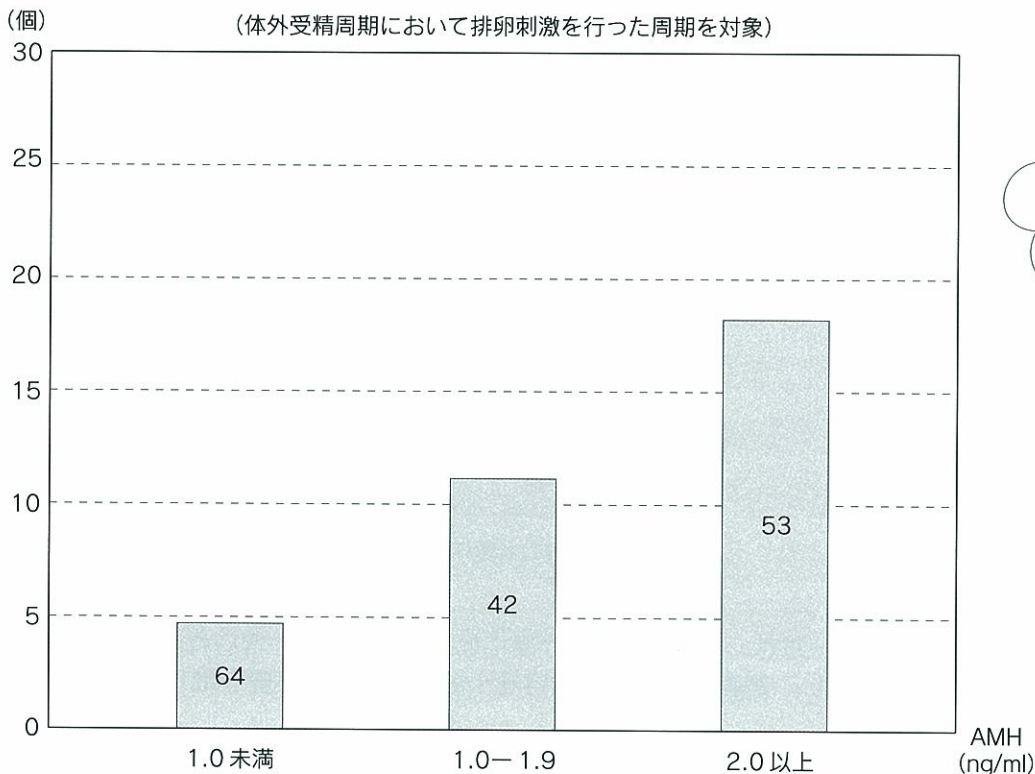
今後もこの検討を続けAMHと卵子や精子、受精卵とどのような関係があるか調べていきたいと思ひます。

AMH (ng/ml)  年齢別にみたAMH測定値

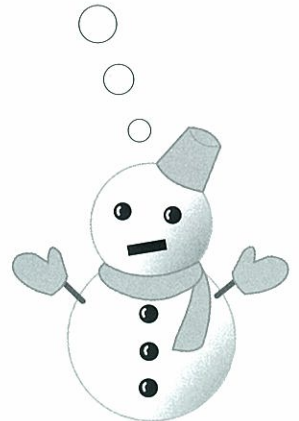


 AMHの値別にみた卵胞発育数

(体外受精周期において排卵刺激を行った周期を対象)



AMHと卵巣年齢の関係は・・・?



心理相談室より

♣️こんなことは、ありませんか？

最近なんだか疲れている、この先のことが気になる、不安な気持ちになる、
気分が落ち込むことが多い、なんだかやる気がでない、いらいらすることが多い etc.

もしかしたら・・・

自分でも気づかない内に、ストレスが溜まっているかもしれませんね

あまり難しく考えないで、治療のこと、夫婦のこと、人間関係
など少し気になることでも、一度お話に来てみませんか？

大きな悩みになる前に小さな芽を摘むことができるかも知れません

♥️どうぞお気軽にご利用ください。

相談してみてもいいなと思う方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください
〔料金：一回一時間を目安に1,370円（体外受精の方は無料）〕

心理士相談 …… 火、金、土曜日（予約制）
何でも相談 …… 随時、主に土曜日 午後（予約制）
院長相談 …… 月、水、金 夕方（予約制）
外来相談 …… 随時、外来の相談係り
培養室何でも相談 …… 月～土 11:00～12:00(予約制)受付に申し出てください。

看護師又は受付に
申し出て下さい。

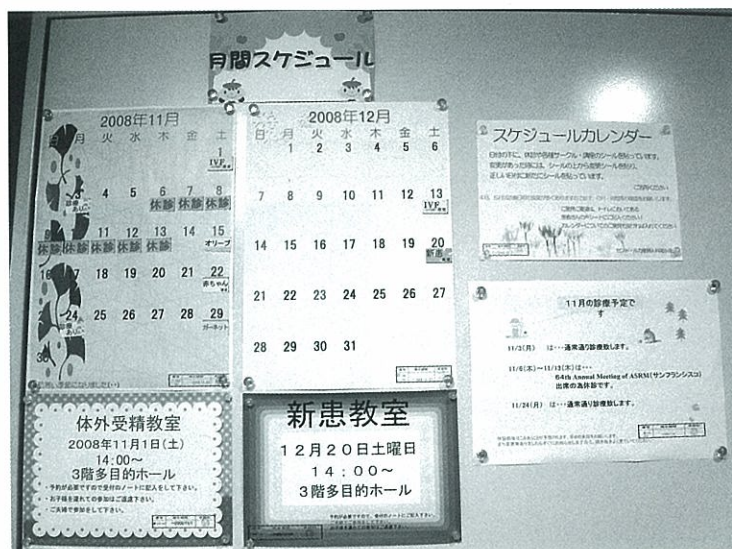


🔔 受付より 🔔

掲示物担当からお知らせです♪

当院では、受付の横に St.Luke オリジナルカレンダーを掲示しています。

このコーナーは休診、各教室、サークルのお知らせする為に設置していますのでどうぞ
活用ください(>▽<)/



カレンダーの下に
各教室・サークルの日程、
横に月間の診療予定を
お知らせしています。



2008年 後期を振り返って

<p>07.06 24th ANNUAL MEETING ESHRE2008 (SPAIN) 参加 熊迫、酒井、院長</p> <p>07.07 看護部研究「患者さんへの体重管理指導」の取り組みのための研修 大分大学医学部総合内科学第一講座教授 吉松博信先生 教授室訪問 参加 工藤美、足立直</p> <p>07.15 第112回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 看護部研究「患者さんへの体重管理指導」の取り組みのための研修 内科阿部医院 (大分) 訪問 参加 工藤美、足立直</p> <p>07.19 第33回 新患教室 参加者69名 参加 深田、三重野、河野、指山</p> <p>07.19 第7回 第5期オリープの会 参加者3名</p> <p>07.19 大分県看護協会主催「看護と感染管理」(大分) 参加 酒井、後藤裕</p> <p>07.20 第5回 A-PART 日本支部学術講演会 (東京) 参加 小池、城戸 教育講演「生殖細胞形成過程におけるエピジェネティクス」座長: 院長 発表: 「卵子凍結保存臨床研究の現状報告」(院長)</p> <p>07.21 第2回 Minimal Stimulation 研究会 (東京) 参加 小池、城戸、院長</p> <p>07.22 ISO9001外部審査 NQA-Japan 川合健一郎氏、渡邊喜二氏ご来院</p> <p>07.22 大分大学医学部附属病院 松田佳歩先生研修のためご来院 (~7月末まで)</p> <p>07.25 第7回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生 (大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生 (おがた泌尿器科医院 院長)、近藤邦子先生 (別府平和園 保育士)、 指山実千代 (セント・ルカ産婦人科 看護師長)、 野村陽一先生 (日本福音ルーテル大分教会 牧師) (あいうえお順)</p> <p>07.26 第135回 体外受精教室 参加者71名 参加 岡田、井澤、三重野、斉高</p> <p>07.26 第2回 2008年度(第2期) 不妊相談士養成講座 (東京) 参加 小池</p> <p>07.29 大分県看護協会主催「看護とマネジメント〜プリセプター研修〜」(大分) 参加 酒井</p>	<p>10.04 第138回 体外受精教室 参加者34名 参加 岡田、井澤、三重野</p> <p>10.04 第1回 大分 減菌および感染対策研究会 参加 斉高、関</p> <p>10.11 第11回 日本 IVF 学会 (大阪) 参加 熊迫 発表: 「当院での凍結方法の選択と異常受精卵の染色体解析」(大津英子) 倫理委員会 (東京) 参加 上野</p> <p>10.11 JISART 倫理委員会 (東京) 参加 上野</p> <p>10.14 第115回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>10.15 大分大学医学部生体分子構造機能制御講座教授 植原久司先生ご来院</p> <p>10.16 大分市消防防災大会 参加 西郷、長木、赤瀬</p> <p>10.17 第28回 大分市医師会産婦人科〜内分沁・不妊・代謝〜懇話会 「子宮内膜症治療のトレンド」(高知大学医学部 産科婦人科学教授 深谷孝夫先生) 参加 山路、平松、工藤由、佐土原、西郷、足立小、越名、佐藤久、小池、佐藤晶、 熊迫、岡田、井澤、二宮、松元、工藤美、越光、赤瀬、関、篠田、原井、 指山、上野、院長</p> <p>10.18 第35回 新患教室 参加者57名 参加 深田、河野、足立直、指山</p> <p>10.18 第10回 第3期・第4期合同オリープの会 参加者2名</p> <p>10.19 第15回 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会 (大分) 参加 佐藤晶、城戸、深田、関、篠田、指山、上野、院長</p> <p>10.23 第53回 「PGSに対する院内倫理委員会の実施とその結果報告」(大津英子) 日本生殖医学会総会・学術講演会 (神戸) 参加 後藤裕、指山、上野 一般演題「受精・胚・着床」座長: 院長 ワークショップ発表: 「走査型電気化学顕微鏡を用いたヒト胚の呼吸量測定の臨床的有用性」(熊迫陽子) 発表: 「流産後の胎盤絨毛におけるゲノムインプリンティングの異常と 男性不妊因子との関連性について」(佐藤晶子) 「不妊治療中に流産となった患者への面接調査」(越光直子) ポスター発表: 「ヒト初期胚の核形態の多様性」(大津英子) 「不妊原因別の卵管上皮細胞の培養結果と予後について」(長木美幸) 「当院における体外受精教室の現状〜教室前後の質問紙調査から〜」 (三重野直美)</p> <p>10.23 第53回 日本生殖医学会総会・学術講演会 (神戸) SarahBase プース展示 山路、平松</p> <p>10.24 日本生殖医療心理カウンセリング学会後援会 (神戸) 参加 上野、院長</p> <p>10.24 日本産科婦人科学会生殖医学の登録に関するご意見聴取の場 (神戸) 参加 工藤由</p> <p>10.26 第5回 大分県母性衛生学会学術集会 参加 足立小、越名、佐藤久、熊迫、岡田、深田、 井澤、酒井、三重野、松元、工藤美、後藤裕、門屋、原井、指山、上野、院長 発表: 「不妊治療中に流産となった患者への面接調査」(越光直子)</p>
<p>08.02 第40回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (横浜) 発表: 「子宮筋腫・腸膀胱切除後の2nd-look laparoscopyの有用性について」(院長)</p> <p>08.02 生殖心理カウンセリング研修・学会打合せ (東京) 参加 上野</p> <p>08.03 第7回 生殖バイオロジー東京シンポジウム (東京) 参加 佐藤久、長木、院長</p> <p>08.03 講演会「生殖技術で生まれた子どもたちからのメッセージ」(神奈川) 参加 院長</p> <p>08.04 釘宮馨大分市長を囲んでの晩飯会 (大分市) 参加 院長</p> <p>08.08 第26回 日本受精学会学術委員会・学術講演会 フリートークセッション5「産婦指導の個別調査に対する各施設の現状と課題点」 のための事前会議 (東京) 参加 工藤由</p> <p>08.09 第34回 新患教室 参加者49名 参加 深田、河野、足立直、後藤裕、指山</p> <p>08.09 第9回 第3期・第4期合同オリープの会 参加者3名</p> <p>08.12 第113回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>08.18 片岡しづ子クリニック (熊本) 杉本祥子さん研修のためご来院 (~8月22日まで)</p> <p>08.19 心臓蘇生勉強会</p> <p>08.23 第136回 体外受精教室 参加者44名 参加 岡田、井澤、斉高</p> <p>08.28 第26回 日本受精学会学術委員会・学術講演会 (福岡) 参加 後藤裕、関、篠田、指山 フリートークセッション 「習慣流産のPGD」進行役: 大津英子 「ARTにおけるカウンセリング」進行役: 上野桂子 「産婦指導の個別調査に対する各施設の現状と課題点」進行役: 院長 一般演題「カウンセリング・看護4」座長: 上野桂子 ランチョンセミナー発表: 「ARTとanti-Mullerian hormone (AMH) 値について」(院長) ビデオディスカッション発表: 「産血疾患未妊女性患者からの卵子採取、凍結保存による妊孕性温存」(院長) シンポジウム発表: 「当院での着床前診断」(大津英子) ワークショップ発表: 「培養室での事故防止のための取り組み」(大津英子) 発表: 「不妊治療後の流産時に得られた胎盤絨毛における ゲノムインプリント遺伝子の解析」(佐藤晶子) 「ヒト未成熟卵の採卵時における血清中LH/FSH比が、IVM後の 卵子成熟率、初期胚発生率、妊娠継続に及ぼす影響」(佐藤千賀子) 「ヒト胚を用いた走査型電気化学顕微鏡 (SECM) による 呼吸量測定の臨床的有用性」(後藤香里) 「不妊原因別の卵管上皮細胞の培養結果と予後について」(熊迫陽子) 「当院における体外受精教室の現状 〜教室前後の質問紙調査から〜」(三重野直美) 「不妊治療中に流産となった患者への面接調査」(越光直子)</p> <p>08.28 第26回 日本受精学会学術委員会・学術講演会 (福岡) SarahBase プース展示 山路、工藤由</p> <p>08.28 第24回 JISART 理事会 (東京) 参加 院長</p> <p>08.30 第36回 ガーネットサークル OG 1名、参加者9名</p> <p>08.30 第15回 臨床遺伝学セミナープログラム (東京) 参加 城戸、大津</p>	<p>11.01 第139回 体外受精教室 参加者40名 参加 岡田、井澤、斉高</p> <p>11.04 第116回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>11.08 64th Annual Meeting of American Society for Reproductive Medicine (San Francisco) 参加 院長 ポスター発表: 「DNA methylation errors at imprinted loci after assisted conception originate in the parental sperm」(佐藤晶子) 「Clinical efficacy for IVF patients using a new evaluation with a measurement of oxygen consumption by scanning electrochemical microscopy」(城戸京子) (アメリカ生殖医学会 学会優秀賞受賞)</p> <p>11.15 第9回 第5期オリープの会 参加者2名</p> <p>11.16 第1回 Infertility Study Group セミナー (舞浜) 参加 佐藤久、長木 ワークショップ発表: エイジングと不妊治療のストラテジー① Overview (院長)</p> <p>11.20 第39回 大分市医師会医学会 参加 山路、平松、工藤由、足立小、越名、佐藤久、佐藤晶、熊迫、大津、深田、 井澤、足立直、松元、越光、斉高、後藤裕、関、篠田、指山、上野、院長 発表: 「未着床患者の卵子凍結における現状」(小池恵) 「当院における体外受精教室の現状〜教室前後の質問紙調査から〜」(三重野直美)</p> <p>11.22 第36回 「赤ちゃん〜今ならさきと授かる〜」講座 (大分・トキハ会館) 講師 指山 (看護師長)、上野 (臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生</p> <p>11.25 ISO9001 マネジメントレビュー</p> <p>11.29 第37回 ガーネットサークル</p> <p>12.04 大分県立看護科学大学講義 講師 上野、院長 講義: 「不妊症講座」(院長) 「不妊症講座〜心理とサポート〜」(上野桂子)</p> <p>12.05 大分県看護協会主催「看護者としての倫理」(大分) 参加 後藤裕、篠田</p> <p>12.06 第25回 JISART 理事会 (兵庫) 参加 院長</p> <p>12.06 第4回 2008年度(第2期) 不妊相談士養成講座 (東京) 参加 小池</p> <p>12.13 第140回 体外受精教室</p> <p>12.13 忘年会</p> <p>12.25 クリスマス会</p>
<p>09.02 避難訓練</p> <p>09.04 日本心理臨床学会学術集会第27回大会 (東京) 自主シンポジウム「生殖医療が家族形成に及ぼす影響」: 「不妊治療における高齢患者への心理的支援」(上野桂子)</p> <p>09.06 第8回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生 (大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 近藤邦子先生 (別府平和園 保育士)、 指山実千代 (セント・ルカ産婦人科 看護師長)、 野村陽一先生 (日本福音ルーテル大分教会 牧師) (あいうえお順)</p> <p>09.08 大分大学医学部附属病院 楠本真実子先生研修のためご来院 (~9月20日まで)</p> <p>09.09 第114回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>09.13 第137回 体外受精教室 参加者30名 参加 井澤、三重野、斉高</p> <p>09.15 着床前診断に反対するシンポジウム (東京) 参加 大津、門屋、上野、院長</p> <p>09.20 第35回 「赤ちゃん〜今ならさきと授かる〜」講座 (大分・トキハ会館) 参加者65名 講師 指山 (看護師長)、上野 (臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加 山路、佐土原、越名、大津、深田、河野、後藤裕</p> <p>09.20 第3回 2008年度(第2期) 不妊相談士養成講座 (東京) 参加 小池</p> <p>09.27 第8回 第5期オリープの会 参加者4名</p> <p>09.27 第45回 九州首市医師会連絡協議会 参加 院長</p>	<p>著書 院長「胚盤胞胚移植」『週刊 医学のあゆみ』223巻1号 (医歯薬出版株式会社) 「採卵法—私はこうしている3」『臨床婦人科産科』第62巻7号 (医学書院) 「ARTと心理的援助」『産科と婦人科』第75巻10号 (診察と治療社) 上野桂子「不妊治療の終結における患者サポートについての検討 —「妊娠に至らず治療終結を決定した元患者を囲む会」を開催して— 産婦人科の実際」第57巻9号 (金原出版) 小池恵「生殖医療と心理カウンセリング」『医療現場のコミュニケーション』(あいう出版) 「電気化学的呼吸能計測によるヒト胚のクオリティ評価」 『産婦人科の実際』第57巻2号 (金原出版)</p> <p>論文 院長「Evaluating the Quality of Human Embryos with a Measurement of Oxygen Consumption by Scanning Electrochemical Microscopy」 J.Mamm. Ova. Res., Vol.25, 2-7, 2008 大津英子「着床前診断におけるバイオプシーの注意点—剖球サイズと核の有無の関わり—」 J.Mamm. Ova. Res., Vol.25, 117-118, 2008 熊迫陽子「The Efficacy of the Transfer of Three Frozen-Thawed Embryos with Vitrification Method」Fertility and Sterility, 2008 (掲載予定) 佐藤晶子「ゲノムインプリンティングと生殖補助医療 (ART) —当院での研究紹介—」 J.Mamm. Ova. Res., Vol.25, 119-120, 2008</p>

妊娠報告件数

(2008.5.1~2008.11.30)

体外受精、顕微授精等

81件

*

その他(体外受精以外)

107件

計 188件

編集後記

早いもので2008年も終わりに近づいてきています。

今年も、それぞれの部署がそれぞれの役割を果たして成果を残すことができたのではないかと思います。国際学会や国内の学会にたくさん参加させていただきました。写真は、ヨーロッパ生殖医学会 (ESHRE) でバルセロナへ行った際のサグラダファミリアの写真です。

新たに始まる一年もスタッフ一丸となって充実した有意義な年にしていきたいと思っています。

(新聞係)



スペイン バルセロナ「サグラダファミリア」



JISART
Japanese Institution for Standardizing
Assisted Reproductive Technology

発行: 医療法人セント・ルカ産婦人科/セント・ルカ生殖医療研究所
〒870-0947 大分市津守富岡5組 ☎097-568-6060 ☎097-568-6299
E-mail st-luke@oct-net.ne.jp http://www.st-luke.jp/
携帯サイト http://www.st-luke.jp/imode.htm